



平成24年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成24年4月27日

上場会社名 株式会社 アイフイスジャパン
 コード番号 7833 URL <http://www.ifis.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大沢 和春
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理担当 (氏名) 野口 祥吾

TEL 03-6825-1250

四半期報告書提出予定日 平成24年5月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	601	1.9	39	12.6	43	23.8	40	142.8
23年12月期第1四半期	613	11.8	34		35	375.8	16	

(注) 包括利益 24年12月期第1四半期 41百万円 (180.8%) 23年12月期第1四半期 14百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年12月期第1四半期	843.18	842.15
23年12月期第1四半期	336.26	335.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
24年12月期第1四半期	2,169	1,618	72.2	32,518.82
23年12月期	1,958	1,602	79.1	32,162.56

(参考) 自己資本 24年12月期第1四半期 1,566百万円 23年12月期 1,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
23年12月期		0.00		600.00	600.00
24年12月期					
24年12月期(予想)		0.00		600.00	600.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	1,420	17.2	90	1.0	90	0.3	60	11.5	1,245.87
通期	3,200	30.8	240	34.0	240	32.5	160	28.9	3,322.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社インフォーテック、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期1Q	51,070 株	23年12月期	51,070 株
24年12月期1Q	2,911 株	23年12月期	2,911 株
24年12月期1Q	48,159 株	23年12月期1Q	49,738 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料) P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1．当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2．サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3．四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株式市場の回復や円高状態の改善など明るい兆しが見えているものの、欧州債務危機の再燃懸念や原油高、電力供給に対する懸念など、景気の先行きに対する不透明な状況が依然として続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、昨今の金融市場を取り巻く環境変化による金融関連企業の印刷物に対するコスト意識の高まりが影響し、ドキュメント関連事業の売上は減少傾向が継続しております。印刷物の受注量減少傾向への対応策としてドキュメントの電子化に対応したソリューションサービスの提供や新たな商材の開発など、付加価値の高いサービスへの注力等、対策を講じてまいりました。一方、投資情報事業におきましては、証券会社向けASPサービスが昨年に引き続き順調に伸びたことに加え、資本市場関係者向けリアルタイムニュースが着実に契約を伸ばしております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は601百万円（前年同期比11百万円減、1.9%減）、営業利益は39百万円（前年同期比4百万円増、12.6%増）となりました。また、経常利益は43百万円（前年同期比8百万円増、23.8%増）、四半期純利益は40百万円（前年同期比23百万円増、142.8%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

<投資情報事業>

『IFIS Research Manager』（アイフィス・リサーチ・マネージャー）や『IFIS Consensus Manager』（アイフィス・コンセンサス・マネージャー）、オンライン証券向けのASPサービスが堅調に推移したことに加え、大手証券会社向けASPサービスの導入が前期に引き続き業績に寄与しております。また、連結子会社である株式会社キャピタル・アイが提供する資本市場関係者向けリアルタイムニュースも拡大基調を継続しており、順調に業績を伸ばしております。

その結果、売上高は150百万円（前年同期比19百万円増、15.2%増）、営業利益は59百万円（前年同期比12百万円増、25.8%増）となりました。

<ドキュメントソリューション事業>

株式市場は全体的に回復基調にあるものの、金融法人においては証券調査レポートの電子配信が進んだことにより、事業法人においてはIR活動の縮小傾向によるコスト圧縮により、印刷需要全体の減少傾向が続いております。配送事業においても、昨年の中日本大震災の影響による一時的な業績の落ち込みからの回復が見られたものの、以前として厳しい状況が続いております。一方、翻訳事業においては取引量を着実に伸ばしております。

その結果、売上高は221百万円（前年同期比7百万円減、3.2%減）、営業利益は19百万円（前年同期比5百万円減、23.0%減）となりました。

<ファンドディスクロージャー事業>

昨今の金融市場を取り巻く環境変化の影響により、投信会社の投資信託関連印刷物に対する意識が依然として厳しく、当社においても印刷受注量の減少傾向が続いております。一方で、ソリューションサービスや運用報告書などの新たな商材受注に注力するとともに、ドキュメントに対する付加価値を高めるなど、マーケット変化に対応したサービス開発を行い受注量の減少を補ってまいりました。

その結果、売上高は229百万円（前年同期比24百万円減、9.6%減）、営業利益は51百万円（前年同期比4百万円減、8.5%減）となりました。

<ITソリューション事業>

ITソリューション事業の事業範囲に、平成24年2月17日付で子会社化した株式会社インフォテックの事業を追加しております。業績については、当該企業のみなし取得日を当第1四半期会計期間末としているため、当第1四半期連結累計期間は計上しておりません。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、前連結会計年度末に比べ210百万円増加し、2,169百万円となりました。流動資産は193百万円増加し、1,805百万円となりました。主な要因は、株式会社インフォーテックを連結範囲に取り込んだことにより流動資産が306百万円増加する一方で、株式購入資金として144百万円を支出したことによるものであります。固定資産は17百万円増加し、364百万円となりました。主な要因は、株式会社インフォーテックを連結範囲に取り込んだことにより固定資産が37百万円増加する一方で、減価償却などの影響によりソフトウェアが11百万円減少したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は、前連結会計年度末に比べ194百万円増加し、550百万円となりました。流動負債は169百万円増加し、522百万円となりました。主な要因は、株式会社インフォーテックを連結範囲に取り込んだことにより、流動負債が165百万円増加したことによるものであります。固定負債は24百万円増加し、27百万円となりました。主な要因は、株式会社インフォーテックを連結範囲に取り込んだことにより、固定負債が25百万円増加したことによるものであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産残高は、前連結会計年度末に比べ16百万円増加し、1,618百万円となりました。主な要因は、四半期純利益40百万円の計上と、剰余金の配当28百万円によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年12月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月11日に「第2四半期累計業績予想および通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表した業績予想に変更はございません。

2．サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、株式会社インフォーテックを、平成24年2月17日付で株式取得し子会社化したため連結の範囲に含めております。

なお、当該子会社のみなし取得日を平成24年3月31日としているため、当第1四半期連結累計期間については、当該子会社の四半期貸借対照表のみを連結し、四半期損益計算書は連結しておりません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,351,933	1,415,082
受取手形及び売掛金	211,713	262,904
有価証券	-	12,336
仕掛品	-	34,002
その他	48,957	82,546
貸倒引当金	765	1,497
流動資産合計	1,611,837	1,805,375
固定資産		
有形固定資産	38,161	42,545
無形固定資産		
のれん	1,545	1,324
ソフトウェア	200,506	189,002
ソフトウェア仮勘定	9,540	2,060
その他	604	1,469
無形固定資産合計	212,196	193,857
投資その他の資産	96,262	127,631
固定資産合計	346,620	364,034
資産合計	1,958,458	2,169,410
負債の部		
流動負債		
買掛金	161,495	222,834
短期借入金	-	33,749
未払法人税等	34,637	20,197
賞与引当金	8,066	33,094
その他	149,117	213,030
流動負債合計	353,317	522,906
固定負債		
長期借入金	-	3,352
退職給付引当金	-	12,968
その他	2,913	11,427
固定負債合計	2,913	27,747
負債合計	356,230	550,654
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,290	381,290
資本剰余金	437,090	437,090
利益剰余金	808,557	823,893
自己株式	77,912	77,912
株主資本合計	1,549,025	1,564,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108	102
為替換算調整勘定	-	1,610
その他の包括利益累計額合計	108	1,712
少数株主持分	53,311	52,681
純資産合計	1,602,227	1,618,755
負債純資産合計	1,958,458	2,169,410

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 平成23年1月1日 至 平成23年3月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 平成24年1月1日 至 平成24年3月31日）
売上高	613,214	601,446
売上原価	370,448	356,433
売上総利益	242,765	245,012
販売費及び一般管理費	208,105	205,981
営業利益	34,659	39,031
営業外収益		
受取利息	156	143
受取配当金	193	72
持分法による投資利益	-	2,581
技術指導料	-	1,634
その他	252	171
営業外収益合計	601	4,603
営業外費用		
支払利息	-	10
為替差損	24	10
営業外費用合計	24	20
経常利益	35,237	43,615
特別利益		
負ののれん発生益	-	8,142
特別利益合計	-	8,142
特別損失		
固定資産除却損	101	81
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9,750	-
特別損失合計	9,851	81
税金等調整前四半期純利益	25,385	51,675
法人税、住民税及び事業税	15,526	18,721
法人税等調整額	4,990	7,023
法人税等合計	10,535	11,698
少数株主損益調整前四半期純利益	14,849	39,977
少数株主損失（ ）	1,875	629
四半期純利益	16,724	40,606

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,849	39,977
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	33	210
持分法適用会社に対する持分相当額	-	1,610
その他の包括利益合計	33	1,821
四半期包括利益	14,883	41,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,758	42,428
少数株主に係る四半期包括利益	1,875	629

（3）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（4）セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間（自平成23年1月1日至平成23年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計	調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	投資情報事業	ドキュメント ソリューション 事業	ファンドディス クロージャー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	130,754	228,916	253,543	613,214	-	613,214
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	9,403	-	9,403	9,403	-
計	130,754	238,320	253,543	622,618	9,403	613,214
セグメント利益	46,919	25,270	56,678	128,869	94,209	34,659

（注）1. セグメント利益の調整額 94,209千円には、セグメント間取引消去639千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 94,848千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成24年1月1日至平成24年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				合計	調整額 （注）1	四半期連結 損益計算書 計上額 （注）2
	投資情報事業	ドキュメント ソリューション 事業	ファンドディ スクロージャ ー事業	ITソリュー ション事業 （注）3			
売上高							
外部顧客への売上高	150,664	221,648	229,133	-	601,446	-	601,446
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	4,881	22	-	4,904	4,904	-
計	150,664	226,530	229,155	-	606,350	4,904	601,446
セグメント利益	59,020	19,466	51,877	-	130,365	91,333	39,031

（注）1. セグメント利益の調整額 91,333千円には、セグメント間取引消去 169千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 91,164千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. ITソリューション事業につきましては、当該事業の中核となる株式会社インフォーテックを平成24年2月17日付で子会社化し連結の範囲に含めましたが、みなし取得日を平成24年3月31日とし当第1四半期連結累計期間は当該子会社の四半期貸借対照表のみを連結しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（重要な負ののれんの発生益）

ITソリューション事業において、当社は株式会社インフォーテックの株式を取得し連結子会社としました。当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては8,142千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。